

広報 あいかわ

わたくしたちの町

人口(男).....	4,726人
(女).....	5,017人
合計.....	9,743人
11月中の転入	22人
転出	18人
世帯数.....	2,209世帯

(11月末日住民登録人口調)

十二月定例議会

社会福祉基金条例の一部改正など十四議案を可決

十二月十五日招集された十二月定例町議会は、二十日までに六日間の会期で審議され、提出された十四議案、それぞれ原案通り可決し、閉会しました。

農道を整備、舗装

合川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般職の給与について、人事院勧告がなされ、四月一日にさかのぼって支給されるよう改正したものです。

一般職員の給与を、平均十八・六%引き上げるとともに、初任給調整手当、扶養手当、住宅手当、通勤手当など諸手当も引き上げたものです。

社会福祉基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

去る8・20災害で被害を受ける人に更生資金を貸し付けるための改正で十四人に総額二百四十九万二千七百七十三円を昭和五十一年一月一日から昭和五十三年一月三十一日まで無利子、無担保で貸付するものです。

八幡岳、道城地区農道整備事業の施行

実施年度を昭和五十一年から昭和五十四年(予定)として、八幡岳地区は三千七百二十メートルを一億六千万円で、また道城地区は一千六百二十一メートルを五千三百九十万円の総事業費でそれぞれ農道を整備しようとするものです。

下杉地区農道舗装事業

昭和五十年年度合川町一般会計補正予算(第四号)に歳入歳出それぞれ六千七百五十二万七千円を追加し、歳入歳出の総予算額を十六億八千三百四十二万九千円としたものです。

の施行

実施年度を昭和五十一年から昭和五十四年(予定)として、下杉地区農道三千三百七十六メートルを五千六百万円の総事業費で舗装しようとするものです。

昭和五十年年度合川町一般会計補正予算(第四号)

これまでの予算総額に歳入歳出それぞれ六千七百五十二万七千円を追加し、歳入歳出の総予算額を十六億八千三百四十二万九千円としたものです。

歳出の主なものは、人事院勧告に伴う人件費の追加二千三万三千円、災害復旧費二千七百七十一万円、鷹巣阿仁広域市町村圏負担金三百十万円などとなっています。

昭和五十年年度合川町国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

これまでの予算総額に、全国的に表彰しているもので、今回は第五回の表彰式。今回は去る十二月十日、東京・三田の笹川記念館で常陸宮、同妃殿下のご臨席を得て行なわれ、藤田さんは秋田県から同じ、人命救助、交通安全などの功労者六人とともに晴れの表彰を受けました。



頭功賞を手に喜びの藤田さん。

おめでとー

日本顕彰会から表彰

交通安全のおじさん 藤田文五郎さん(八幡岳)が永年にわたる交通安全に對する功労が認められ、このたび財団法人「日本顕彰会」から表彰を受けました。

この表彰は日本顕彰会(会長 笹川良一)が毎年社会に對して貢献している人

歳入歳出それぞれ百三十七万九千円を追加し、総額を二億三千二百五十九万八千円に補正したものです。これは、人事院勧告に伴う人件費の追加分です。昭和五十年年度合川町立合川診療所特別会計補

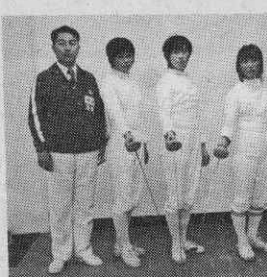
正予算(第二号) これまでの予算総額に、歳入歳出二百五十五万五千円を追加し、総額を一億一千五百七十一万八千円に補正したものです。人件費増が主な歳出となっています。

フェンシング

桜田さん 合川 高校 念願の日本一に

三重国体で大活躍

第三十回三重国体のフェンシング競技で秋田県少年組の女子チームは、話題の優勝に大きな力となりました。



秋田県少年組女子チーム 右から二番目が桜田さん

また主力を合川高校でしめる少年男子チームも準優勝するなど同競技初の総合優勝に大きな力となりました。

その中でひとときわきさえる剣さばきで、チームの力となつて活躍した選手が本町東根田部の桜田益子さん(兼沢部落の西村雅明君)です。

合川高校トリオが出場、見事優勝。念願の日本一の座につきました。

桜田さんは、東根田・桜田雄雄さん(農業)の長女で現在、公立合川高等学校の三年生。

西村君は、兼沢で商業を営む西村広子さんの二男で現在、同校の三年生です。特に桜田さんは、これより先に行なわれた、インターネットハイ(全国高校総体)でも団体ではトリオである庄司孝子さん(森吉)、新林恭子さん(阿仁)とともに高校日本一に輝いており、全国の二大タイトル制覇の快挙を成しとげるとともに、個人戦(フルード)でも庄司さんの優勝について準備勝ちに輝いており、全国に「合川剣士」の名をとどろかせました。

また西村君も、インターネットハイに入賞の活躍をみせ、

建設技能組合

善意の住宅修理奉仕

合川町建設技能組合(組合長、松橋隆三・組合員百三十四人)では、去る十月末から十二月二十六日まで、町内九世帯の生活保護、ひとり暮らし老人、母子家庭等の住宅小破修理作業を無償で奉仕して下さいました。

同組合は昨年が続いた活動で、これは、長く厳しい冬期間をすこしでも暖かい家ですごしてもらおうとの善意から、各家庭から大変感謝されています。なお、これに要する材料費は合川町社会福祉協議会が全面的に協力し、負担いたしました。

建設技能組合

昭和三十九年度新園児募集中

昭和三十九年度に保育園

昭和三十九年度に保育園

昭和三十九年度に保育園

昭和三十九年度に保育園

昭和三十九年度に保育園

町長日記から

不況下の年の暮となつた。地方財政も予想以上の苦しさに向つている。所得税、法人税、酒税の三十二割が地方交付税として、財政力の弱い県や市町村に交付される仕組みになっており、それがわが町のような町村では主たる財源であるのに、高度成長時代とはうってかわつて、国税の落ち込みによって大きな影響をもたらしつつある。いわゆる不況下のインフレのきざしがおさまらない。さらに新年度になると、政府は国税の不足を国債でまかなうことになる。だが、国債分の収入に見合う財源は、地方財源にはなかつて来ない。このような状況下において、町職員給与の削減が、健康は幸福の母である。丈夫で新しい年を迎えることをお祈りする。(義郎)

仕事を面で、町民が負担できる補助を廃して、負担しきれないようなものを重点的に実施する……などを今検討中である。それぞれの立場から不平不満が出るかも知れないが、町長が一人悪人になつても、町の財政を破たんさせることは回避する決意である。かた苦しい話になったが、健康は幸福の母である。丈夫で新しい年を迎えることをお祈りする。(義郎)

昭和三十九年度に保育園

昭和三十九年度に保育園

